

国際理事会報告

2013年度ICD国際理事会報告

国際理事 千田 彰、橋本 光二

2013年度の国際理事会は、2013（平成25）年9月26日から27日までSection XIII 中国の主催で中国成都市のJin Jiang Hotel Sichuanで開催された。国際理事会は原則的には米国で2年に1回ADA（アメリカ歯科医師会総会）開催地で、それ以外の年は米国以外のSectionが主催して開催されるのが通例であり、2012年度はSan Francisco（米国）で開催されている。

例年10月開催であったものが2013年度は9月末開催となった為、国際理事の千田、橋本兩名共に学会参加、学校行事等が重なり、種々調整を計ったが、日程的に無理であり、止む無く欠席すると国際本部に連絡した。しかし重要議案もあることから日本から誰か参加してほしいという連絡があり、前国際理事であられた佐藤吉則会長に御出席頂く事になった。また小林菊生副会長と作間事務局長のお二人もオブザーバーとして参加された。改めて御三方には深謝致します。本稿は佐藤吉則会長から提供頂いた情報を中心に書かせて頂いた。なお役職は全て当時のものである。

9月25日夜は恒例の国際理事懇親会が行われた。翌26日は昨年認証式で来日されたLeon Aronson会長の開会宣言で国際理事会がスタートした。今回の参加

者はAronson国際会長、Woong Yang次期会長、John Kenally副会長ほか役員6名、国際理事22名、佐藤会長とカナダから1名の計2名が代理出席であった。新しい国際理事としてSection XXからDr. How Kim Chuan（Malaysia）の就任が報告された。今回議長を勤められるはずだったChales L. Siroky元国際会長は直前に心疾患で急逝されていた。彼は2011年国際会長として日本部会認証式に来日の予定が3月11日の東日本大震災で認証式が中止となり来日されなかった。私は同年のミャンマー部会認証式や国際理事会でお会いし、親しみやすい人柄の上、Project55を発案されるなど行動力のある方で御逝去はICDにとっても誠に残念な事であった。

多数の項目について報告があり、Globe2013が誌面をかなり変更したが作成経費が若干削減出来た事、ICDのホームページが2014年に新しくなる事、全フェローに対し“Who We Are”というアンケート調査が行われた事、歯科教育や、人道的な歯科治療などに使う事を目的にICD GLOVAL VISIONARY FUNDという基金が設立され既に寄付を募っている事など関連の委員会からの報告があった。国際本部からの情報発信



図1 国際理事会
(写真提供：佐藤吉則会長)



図2 中国部会からAronson会長へ記念盾贈呈
(写真提供：佐藤吉則会長)



図3 決定した2014年度国際本部執行部
(ICD Facebookから)

前列左からPhillip Dowell副会長、Woong Yang会長、Joseph Kenneally次期会長、後列左からClive Ross財務担当、Leon Aronson前会長、Sheldon Dov Sydney 編集担当、John Hinterman事務局長

の為に各sectionから蒐集した会員管理データベースの作成を進行中であり、Facebookを使って国際本部からの情報発信が活発に行われている事なども報告された。

午後は各委員会に分かれて討議が行われた。

翌27日も早朝から会議があり各sectionからの報告、事務局長からは最近5年間の各セクションのActive Fellowの数が示され、全体にやや減少傾向にあり、今後の運営面で問題がある事が示された。最大数を誇

るUSAセクションでもActive Fellowの数は減っているという事であり、日本部会ばかりでなく国際的な傾向である事が分かった。続いてICDで最高の名誉とされるOttofy-Okumura賞にDr. Donald Johnson (USA)とDr. Manfred Seidemann (Chile)の元国際会長のお二人が推薦され審議の結果承認された。マスターフェローについては米国部会からDr. Vangel R. Zissi、カナダ部会から前国際会長Dr. Garry W. Lunnの推薦があり、議論の結果承認された。

2014年度国際理事会は本来米国で開催される筈であるが、オーストラリア部会が創立50周年を迎える事からシドニーで10月に行われ、その日程等が報告された。

最後に2014年度の新役員が以下の様に決定された。

会 長 Dr. Woong Yang (KOREA)

次期会長 Dr. Joseph Kenneally (USA)

会 計 Dr. Clive Ross (Australia)

編集担当 Dr. Sheldon Dov Sydney (Israel)

また新しく副会長にDr. Phillip Dowell (UK) が推薦され承認された。

以上、予定の報告および審議事項は順調に進められ、最後にAronson会長から2014年度Woong Yang会長に対し恒例のGavelの引き継ぎが行われた。新国際会長は韓国部会フェローで、アジアからの国際会長就任は森山徳長フェロー以来である。